

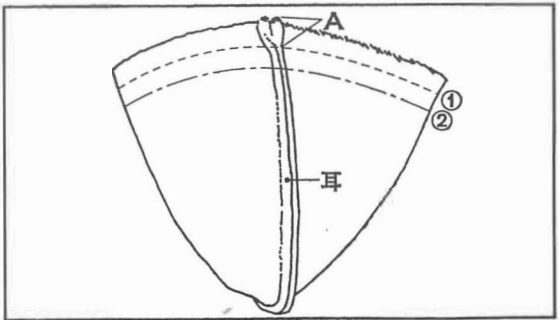
◎用意するもの

- ・短めの手縫い針
- ・糸（ハンドキルティング用のポリエステルと綿から成る糸で、太さ四〇番手がおすすめです。）
- ・糸切りばさみ
- ・指ぬき（生地が重なっている部分を縫う時にあると便利です。）

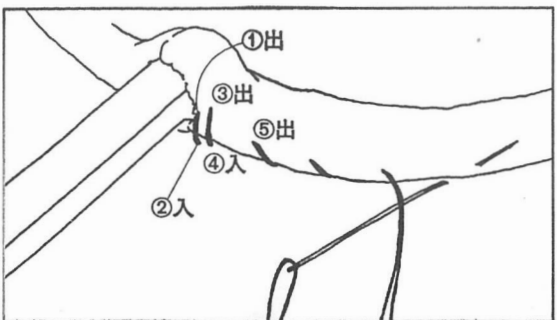
◎縫い始める前に

- ・糸は一〇〇程の長さを二本どりにして使います。
- ・縫い方はまつり縫いを用います。

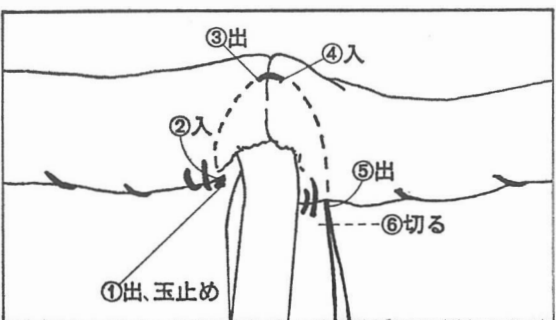
◎縫い付け方



まずネルの両端の耳の上部Aを左右に割り、点線①を折りまゝ。折り目は親指の爪を布に垂直にあて右側に動かしてつけます。この折り目をしっかりとつけると縫いやすくなります。A以外の耳はどちらか片側に倒し、耳の縫い目と輪っかの柄の中心を合わせて、輪っかを包むようにさらに点線②を折ります。



縫い始めは輪っかの柄のすぐわき①出の真裏から針を入れて①出から抜きます。従って玉止めは①出の真裏にきます。次に②⑤の要領で柄のわきを二度縫って糸を引きしっかりと閉じます。その後は五ミリの間隔でまつっていきます。縫い目や柄のわきからコーヒーの粉が入らないように、全体をしっかり縫ってください。



縫い終わりも始めと同様に柄のわきで二度縫って糸をしっかりと引き、①で玉止めをします。柄の間は縫いません。①の玉止め後、糸を②⑤のように折った縫い代の中を通し表に出して切ります。